

会計名 一般会計			特別企画展開催事業				担当部	次世代育成部	
款	項	目					担当課	夢と学びの科学体験館	
3	2	4					担当係	夢と学びの科学体験館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	市内の子どもたちを中心に広く科学の楽しさに触れる機会を創出し、次代を担う人材の育成に寄与することで、来館者満足度の向上及び施設の魅力向上を図る。			主たる内容	春、夏、冬の学校等の長期休業中の特別企画として企画展示及びテーマにあわせたプラネタリウム番組の投映を行う。			
	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画							
	位置づけ	根拠法令	児童福祉法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成27年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・光のマジカルワールド 4月1日～5月7日：26,778人 ・不思議！錯覚ミュージアム 7月15日～9月3日：56,583人 ・わくわく宇宙ライブ 12月9日～2月4日：24,675人 ・のりものフェスタ 3月10日～3月31日：18,076人		・のりものフェスタ 4月1日～5月13日：34,121人 ・デジタルアート展 7月14日～9月2日：52,099人 ・ICEワンダーランド 12月15日～2月11日：27,204人 ・ダンボールミュージアム 3月16日～3月31日：19,991人		・ダンボールミュージアム 4月1日～5月6日：37,116人 ・わくわく恐竜アドベンチャー 7月13日～9月1日：57,648人 ・ぐるぐるミュージアム 12月14日～2月9日：22,224人 ・デジタルスポーツミュージアム 3月14日～3月31日：中止		・デジタルスポーツミュージアム 4月1日～5月6日：中止 ・夏の特別企画展：中止 ・冬、春の特別企画展の開催	
成果		学校等の春、夏、冬の長期休業期間に合わせて、企画展の開催及びテーマに合わせたプラネタリウム番組の投映することにより、多くの来館者を迎えることができた。							
課題		費用対効果の精査及び企画等提供者選択をしっかりと行い、より効率的に事業が進められるようにする。							
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度
	活動指標	開催日数（日）			143	146	125	67	145
成果指標	期間中来館者数（人）			126,112	133,415	116,988	42,000	127,500	
他市との比較検証	本市と同程度の市における他館において特別企画展も見当たらず、独自の企画であると思われる。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費①	22,163	21,938	22,399	22,500	合計	22,399,026円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	482,446円	
		一般財源	22,163	21,938	22,399	22,500	委託料	21,916,580円	
	職員人件費②	10,856	10,802	10,782	9,466				
	総事業費（①+②）	33,019	32,740	33,181	31,966				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			特別企画展開催事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	夢と学びの科学体験館
款	項	目		担当係	夢と学びの科学体験館
3	2	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	学校の長期休業にあわせ特別展示を行うことにより、子どもたちの科学への興味を高めることができる。また、休業中に行うことにより家族で出かけることもでき、家族で過ごす時間を創出することもできる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	期間を限定して開催することにより、来館者を増やすことができ、多くの子どもたちの科学への興味を高めることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	理科教育、科学への興味を子どもの頃から持たせることにより、教育効果を高めるとともに、特別企画展開催により普段と違うものづくりや科学への興味を持たせることができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	長期休業中の子どもたちの居場所として家族ぐるみでも過ごせる場を提供することにより、新たな来館者のきっかけ作りや再来館を促し、集客につなげる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
学校の長期休業中の子どもたちの居場所づくりとしての価値を高めるとともに、教育機関、民間との連携により、より専門性の高いプログラムの提供を行い、科学への興味、ものづくりへの興味をより多くの子どもたちに高めてもらえるよう努めていく。					

会計名 一般会計			一ツ木児童館管理運営事業				担当部	次世代育成部		
款	項	目					担当課	夢と学びの科学体験館		
3	2	4					担当係	夢と学びの科学体験館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	子どもの居場所づくり							
	目的	一ツ木児童館を適切に管理運営をすることにより健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにする。			主たる内容	一ツ木児童館の指定管理者を指定し、地域児童館の管理運営を行う。 開設場所 一ツ木福祉センター内				
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画							
			根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン						
		対象者	児童・保護者			事業期間	平成10年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。		
成果		指定管理者として刈谷市社会福祉協議会を指定し、一ツ木児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにすることができた。								
課題		前年度に引続き、新しい行事を展開し魅力的な児童館の運営に努める。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		一ツ木児童館開館日数（日）			307	289	282	256	308	
成果指標		一ツ木児童館利用者数（児童クラブを除く）（人）			22,016	20,076	17,931	15,000	22,000	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費①		8,719	8,464	8,335	8,832	合計	8,335,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	8,335,000円		
		一般財源	8,719	8,464	8,335	8,832				
	職員人件費②		1,939	1,929	1,925	2,650				
	総事業費（①+②）		10,658	10,393	10,260	11,482				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	次世代育成部		
款	項	目					担当課	夢と学びの科学体験館		
3	2	5					担当係	夢と学びの科学体験館		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	子どもの居場所づくり							
	目的	交通児童遊園を安全かつ効率的に管理運営することにより、屋外型児童厚生施設として子どもたちに健全な遊びの場を提供し、その健康を増進し、情操を豊かにする。			主たる内容	交通児童遊園の指定管理者を指定し、施設の適正な管理運営を行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画							
		根拠法令	児童福祉法							
		対象者	児童・保護者		事業期間	昭和50年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営する。		
成果		児童に健全な遊び場であり、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営することができた。								
課題		来園者が多く駐車場が混雑するため、誘導員を配置して安全の確保に努める。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		交通児童遊園開園日数（日）			281	287	266	230	290	
成果指標		交通遊具利用者数（人）			1,350,855	1,266,910	1,185,406	1,020,000	1,350,000	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費①		105,860	113,090	119,730	148,196	合計 119,729,849 円			
	財源	特定財源	72,831	68,114	62,288	67,788	役務費 33,320 円			
		一般財源	33,029	44,976	57,442	80,408	委託料 118,408,089 円			
	職員人件費②		1,551	1,543	2,696	3,029	備品購入費 1,288,440 円			
	総事業費（①+②）		107,411	114,633	122,426	151,225				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0		交通児童遊園遊具使用料、行政財産目的外使用料、土地建物貸付収入				
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			なのほな児童館管理運営事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館		
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館		
3	2	4								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	子どもの居場所づくり							
	目的	なのほな児童館を適切に管理運営することにより健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにする。			主たる内容	なのほな児童館の指定管理者を指定し、地域児童館の管理運営を行う。 開設場所 老人デイサービスセンターなのほな2階				
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画							
			根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン						
		対象者	児童・保護者	事業期間	平成23年度～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。		
成果		指定管理者として医療法人光慈会を指定し、なのほな児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにした。								
課題		前年度に引続き、子どもたちに向けた行事を展開し、魅力的な児童館の運営に努める。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		なのほな児童館開館日数（日）			308	304	282	256	308	
成果指標		なのほな児童館利用者数（人）			10,477	11,253	9,837	8,000	11,500	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,389	4,413	4,475	5,370	合計	4,474,742 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	4,474,742 円		
		一般財源	4,389	4,413	4,475	5,370				
	職員人件費 ②		1,939	1,929	1,925	2,650				
	総事業費（①+②）		6,328	6,342	6,400	8,020				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0						
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			夢と学びの科学体験館管理運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	4							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	科学体験講座等を行い、科学の楽しさを体験できる機会を創出する。			主たる内容	○サイエンスショーの実施 ○館内施設機能を維持するための各種点検や清掃、保守管理、警備等の実施			
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
			根拠法令	児童福祉法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成27年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> サイエンスショーの実施 加藤与五郎実験教室の実施 科学体験講座の実施 簡単工作の実施 		<ul style="list-style-type: none"> サイエンスショーの実施 加藤与五郎実験教室の実施 科学体験講座の実施 簡単工作の実施 正面玄関ガラス扉の取替 		<ul style="list-style-type: none"> サイエンスショーの実施 加藤与五郎実験教室の実施 科学体験講座の実施 簡単工作の実施 		<ul style="list-style-type: none"> サイエンスショーの実施 加藤与五郎実験教室の実施 科学体験講座の実施 簡単工作の実施 	
成果		サイエンスショー企画運営業務を委託し実施するとともに、科学体験講座、簡単工作を実施し、多くの子どもたちが科学の楽しさを体験することができた。同志社大学に依頼し、郷土ゆかりの偉人に関連した加藤与五郎実験教室を開催することができた。							
課題		来館者のニーズを捉え、ショーや様々な講座を行い、科学やものづくりへの興味を高められるように努める。大学の科学サークルや各種企業等と協力して、新しい科学技術や知識を提供する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		開館日数（日）			309	311	284	258	310
成果指標		来館者数（人）			215,172	227,504	216,321	186,000	232,000
他市との比較検証		近隣他市に同様の施設がないため、直接的比較ができないが、来館者数、評判とも好調である。							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費①		43,486	50,708	46,903	53,109	合計	46,903,219円	
	財源	特定財源	7,508	9,726	10,173	11,459	報償費	15,000円	
		一般財源	35,978	40,982	36,730	41,650	需用費	20,914,541円	
	職員人件費②		16,672	16,974	17,329	19,310	役務費	206,119円	
	総事業費（①+②）		60,158	67,682	64,232	72,419	委託料	24,036,538円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料、土地建物貸付収入、児童館事業費					
3年度以降の事業費見込		0		寄附金、実験ラボ参加料、簡単工作参加料					
						使用料及び賃借料	1,721,021円		
						負担金、補助及び交付金	10,000円		

会計名 一般会計			プラネタリウム管理運営事業				担当部	次世代育成部	
款	項	目					担当課	夢と学びの科学体験館	
3	2	4					担当係	夢と学びの科学体験館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	プラネタリウムで一般投映や学習投映等を実施し、子どもたちを中心とした利用者の星や宇宙への関心を高める。			主たる内容	・一般投映の番組や学習投映の内容を充実させる。 ・プラネタリウムコンサートなどのイベントを実施する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和56年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・一般投映 ・学習投映（幼稚園、保育園年長、小学4,6年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会		・一般投映 ・学習投映（幼稚園、保育園年長、小学4,6年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会 ・刈谷市オリジナル番組制作		・一般投映 ・学習投映（幼稚園、保育園年長、小学4,6年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会		・一般投映 ・学習投映（幼稚園、保育園年長、小学4,6年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会	
成果		星座解説の他、様々な番組の投映を行い、多くの人たちの星や宇宙への関心を高めることができた。より多角的に楽しめるよう、コンサートや講演会、星空観望会を実施した。市内幼稚園、保育園、小学校に対して学習投映を行い、子どもたちの宇宙への興味を高めることができた。							
課題		年齢を問わず楽しめるよう、様々な番組を投映し、多くの年代の人たちに楽しんでもらえるように努めた。今後も引き続きニーズをとらえながら投映を実施していく。							
O 実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度
	活動指標	プラネタリウム投映回数（回）			814	827	761	660	820
成果指標	プラネタリウム観覧者数（人）			46,644	51,909	44,753	38,000	52,800	
	他市との比較検証								
C 事業 コスト V	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費①		22,532	29,539	24,617	26,684	合計	24,616,946円	
	財源	特定財源	7,325	8,427	7,291	8,100	旅費	168,880円	
		一般財源	15,207	21,112	17,326	18,584	需用費	4,068,416円	
	職員人件費②		7,367	10,030	11,552	12,873	役務費	12,070円	
	総事業費（①+②）		29,899	39,569	36,169	39,557	委託料	16,823,700円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		プラネタリウム使用料					
3年度以降の事業費見込		0							
						使用料及び賃借料	3,515,380円		
						負担金、補助及び交付金	28,500円		